

呼吸器外科（井田病院）（選択科目）

◎ 呼吸器外科研修カリキュラム責任者：安彦 智博 呼吸器外科部長

A. 研修目標

1. 一般目標

呼吸器疾患の外科治療に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

2. 行動目標

- 1) 医師としての実力、品位、姿勢、協調性について学ぶこと。
- 2) 患者・家族との信頼関係を構築すること。
- 3) 病歴聴取とカルテ記載を行い、症例提示と問題提起ができるようにすること。

3. 経験目標

- 1) 呼吸器疾患に適切な対応がとれるように経験を積む。
- 2) 病歴聴取と身体理学所見の把握から、鑑別診断の方向付けが出来る。
- 3) 酸素投与、胸腔ドレーンについての知識と、胸腔ドレーン挿入及び抜去に精通する。
- 4) 胸部 X 線、胸部 CT の実際の診断力（解剖学的部位、質的評価）を獲得する。
- 5) 呼吸器疾患の手術適応に関する全身評価（耐術能）、疾患の評価（stage, EBMに基づく治療指針）の実際を学ぶ。

B. 研修計画

1. 手術：手術に助手として参加し手術の実際を学ぶ。術前・術後の全身管理や状態の変化を捉え、適切に対処できる技能を身につける。
2. 検査：気管支鏡検査（週 2 回）に立ち会い実際を学ぶ。
3. 外来：指導医に陪席し、患者の病歴および身体所見から適切な検査を選択し、正しい判断に導く技能を身につける。
4. 病棟：朝(8:30)、夕(16:30)に指導医と回診し、状態の変化を捉え、適切に対処できる技能を身につける。
5. 病棟カンファレンス（毎週水曜）、呼吸器外科カンファレンス（毎週月曜）、外科術前術後カンファレンス（毎週火曜）、呼吸器抄読会、勉強会（毎週水曜）に参加し症例呈示を行う。

C. 指導体制

安彦智博 日本外科学会専門医・指導医
日本胸部外科学会認定医
日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医
日本呼吸器外科学会専門医
肺がんCT検診認定医
ハイパーサーミア認定医

D. 研修評価

井田病院の評価方法に準じる。